



日立健康管理センタより 産業保健の話題をお届けします

【大腸CT検査のススメ】

放射線医師：草野涼

人間ドックの大腸がん検査は、一般的に便潜血検査が行われます。全国集計*によると、便潜血検査で陽性になる方は全体の**5.7%**で、その内、更に大腸内視鏡検査などの精密検査を受診した方の**3.7%**に大腸がんが存在していました。しかし、精密検査は便潜血検査で陽性の方の**59.5%**しか受診しておらず、**恥ずかしさ、苦痛、不安**など抵抗感から、**約40%**の方が未受診であることが実情なのです。
(*2019年集計)

近年、精密検査として大腸CT検査が普及しています。下剤を服用して腸をきれいにした後、肛門から炭酸ガスを注入した状態でCT撮影して、3D画像を作成して大腸の内側の隆起=ポリープの有無を調べることができます。

検査時間はCT検査室に入ってから出るまでが15分程度で、炭酸ガスの腹満感も検査後は速やかに軽快するため、**大腸内視鏡検査に抵抗のある方にもおすすめです。**

検査の結果、6mm以上の病変が疑われた場合は、専門医での大腸内視鏡検査・治療が必要となります。

便潜血検査後の精密検査にお悩みの方は、まずは、**大腸CT検査の受診**を考えてみてはいかがでしょうか。

筆者自らも大腸CT検査を受けました！



食事制限や下剤の服用、検査自体は辛いですか？



私自身が検査を受けた感想を申し上げますと、前日の検査食では少しお腹が空くので、飴やゼリーで補いました。下剤はスポーツ飲料の様で飲みやすかったです。就寝時のトイレの失敗が心配で、一応下着を重ね着して安心でした。朝まで眠れないということもありませんでした。私の場合、検査の**苦痛はほぼ無く**、検査後も30分ほどで帰宅できたので良かったです。

健診・保健指導などの健康情報はこちら



日立健康管理センタ HP

<https://www.hitachi.co.jp/hospital/nikkense/>

1年に1回の間人ドックは、**『日立健康管理センタ』**をご利用ください。

次回は12月初旬頃に記事をお届けします